

子宮内膜癌における  
共有意思決定による  
免疫チェックポイント阻害剤の  
症例ベースの実施

# 免責事項

- 未承認医薬品や、承認医薬品の未承認の使用について講演者が考察を行うことがあります。そのような状況は、少なくとも1法域における承認状況を反映している可能性があります
- 講演者は、適応外使用や未承認使用についての言及を必ず開示するよう、touchIMEにより助言されています
- touchIMEの活動においてこれらの製品や使用法が言及されても、未承認製品や未承認の使用法の推薦がtouchIMEによってなされたり暗示されたりするものではありません
- touchIMEは、誤謬や不作為によるいかなる責任も負いません

# 専門家MDT委員会



**Christian Marth**教授  
婦人科腫瘍医  
インスブルック大学、  
オーストリア

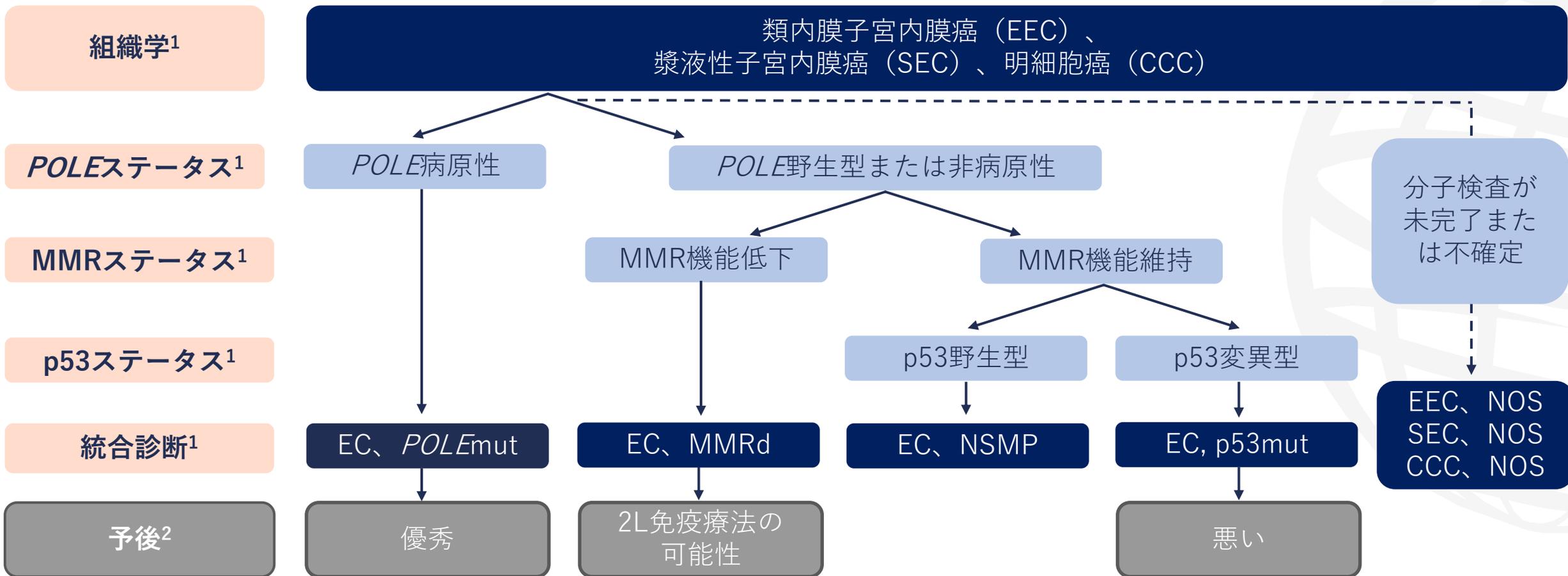


**Ilaria Colombo**博士  
腫瘍内科医  
南スイス腫瘍学研究所、スイス、  
ベリンツォーナ



**Tjalling Bosse**博士  
病理医  
ライデン大学医療センター、  
オランダ

# 分子子宮内膜癌の分類の診断および予後アルゴリズム



2L、セカンドライン; EC、子宮内膜癌; MMR、ミスマッチ修復; MMRd、MMR機能低下; mut、変異; NOS、特に指定なし; NSMP、非特定分子プロファイル; p53、腫瘍タンパク質p53; POLE、DNAポリメラーゼε。

1. Vermij L, et al. *Histopathology*. 2020;76:52–63 ; 2. Concin N, et al. *Int J Gynecol Cancer*. 2021;31:12–39.